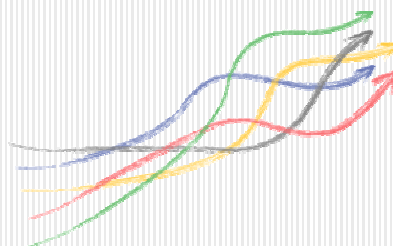


2007年9月期 決算説明会

2007年11月26日



本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

 ACKG

3

アウトライン

- I : 2007年9月期 総括
- II : 経営強化
～サービス領域無限大へのチャレンジ～
- III : 質疑応答



ACKG	5
2007年9月期 総括	
－新たな会社のグループ参画と事業領域拡大－	
【決算】 ◇前期比売上高33%増、経常利益26%増 ◇全売上高における民間部門比率15%増 ◇国際部門売上高12%増 【経営強化】 ◇防災、環境、情報・センシング分野等の強化 ◇本格的なグループシナジーのスタート	

ACKG

6

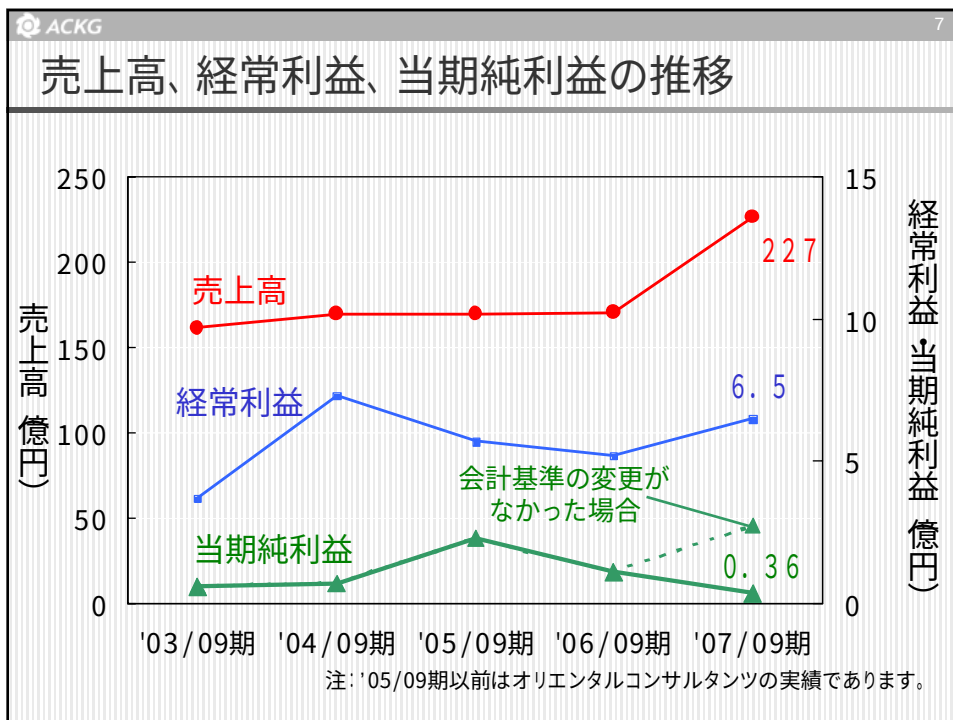
2007年9月期 連結決算概況

◇前期比売上高33%増、経常利益26%増

(単位:百万円)

	前期 (‘06/09期)	当期 (‘07/09期)	増減 (対前期比)	期首計画値 (‘07/09期)
売上高	17, 167	22, 763	33% (5, 595)	19, 500
経常利益	517	653	26% (135)	530
受注高	17, 528	22, 834	30% (5, 305)	19, 500

※増減のカッコ内数値は増減額(百万円)



ACKG 8

2007年9月期 連結貸借対照表

◇新たな会社のグループ参画と事業領域拡大に伴う資産増
◇株式交換、内部留保による資本充実

(単位: 百万円)

	前期 ('06/09期)	当期 ('07/09期)	増減 (対前期比)
資産合計	9,885	12,967	31% (3,082)
負債合計	4,095	6,759	65% (2,663)
純資産合計	5,789	6,208	7% (418)

※増減のカッコ内数値は増減額 (百万円)

II：経営強化 ～サービス領域無限大へのチャレンジ～

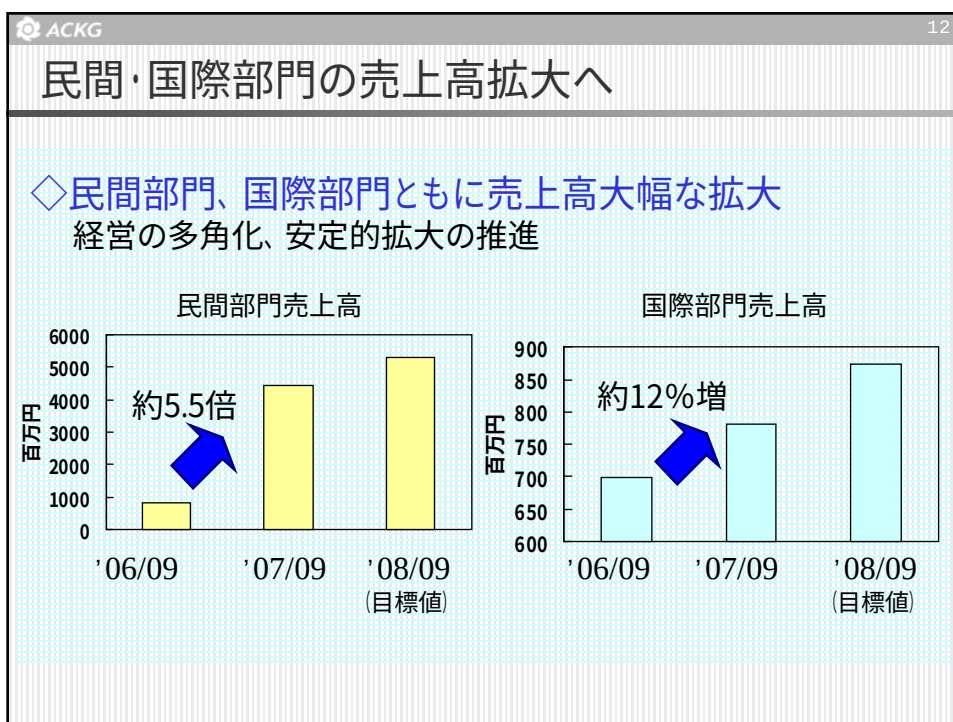
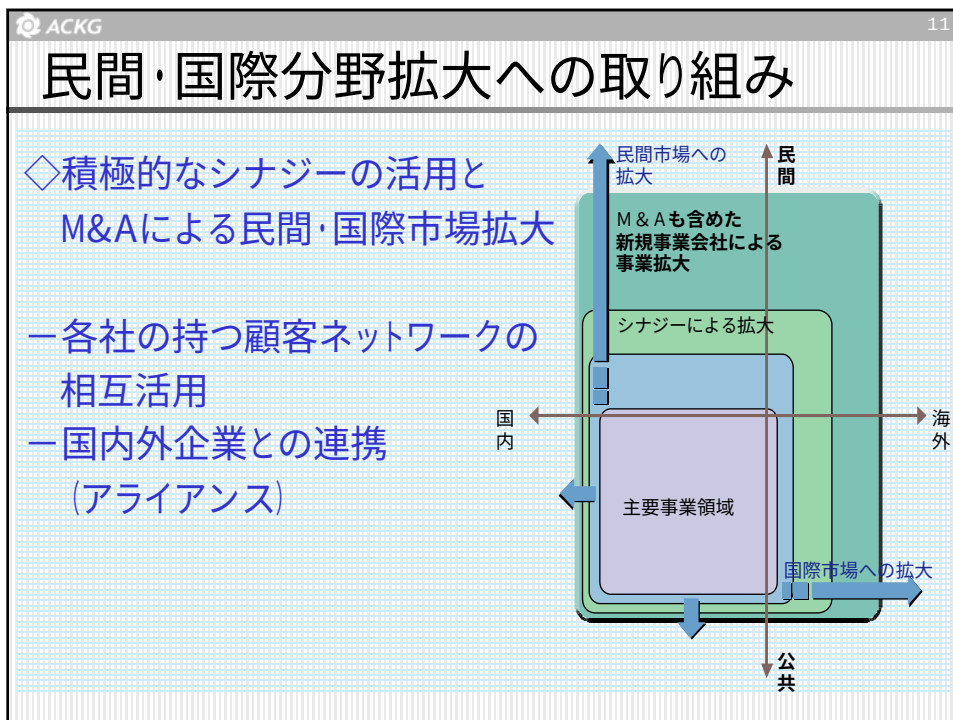


サービス領域無限大へのチャレンジ

セキュアなくらしと豊かな社会の創造

「私たちは、半世紀以上にわたり培った技術で、
様々な空間情報を活用し、
セキュアで豊かなくらしづくりをお手伝いします。」

- 民間・国際分野拡大への取り組み
- 防災、環境、情報・センシング分野拡大への取り組み
- 先行投資による経営基盤強化とさらなるチャレンジへ



民間市場における業務事例

◇環境リスク対策

【土壌汚染対策法の強化】

調査から対策実施および汚染機構の解明

大成基礎設計では累計約2,000件の豊富な実績

【アスベスト除去工事】

近年問題となっている

解体工事に伴うアスベスト

調査および除去工事を実施



アスベスト除去状況

海外の民間市場における業務事例

建設ラッシュが続いているドバイ等の中東諸国やアジア
諸国からの受注拡大

◇アラブ首長国

ドバイ メトロプロジェクト

◇カタール

ドーハ新国際空港

ターミナルアプローチ



ドバイ メトロプロジェクト

◇韓国

・橋梁設計コンペで最優秀賞 (松島新都市橋梁設計コンペ)

→オリエンタルコンサルタンツ、杉山デザイン研究所、惟信等のコンソーシアム

・現代製鉄所・軟弱地盤対策

ACKG
15

防災、環境、情報・センシング分野拡大への取り組み

◇新たな会社のグループ参画

大成基礎設計株式会社: 地盤、斜面、土壌・地下水汚染に強み

YSR 吉井システムリサーチ株式会社: システムインテグレーションに強み
Yosai System Research, co., Ltd.

株式会社 総合環境テクノロジー: 3R (リデュース、リユース、リサイクル)、バイオマス
廃棄物処理等の分野に強み

+



株式会社
ACKグループ

↓

防災、環境、情報・センシング分野強化

ACKG
16

防災分野の取り組み事例

◇水害対策

- ・中央設計技術研究所と
オリエンタルコンサルタンツ
の共同開発
- ・河川と下水道を連携させた
河川-下水道統合解析技術
- ・今後、提案営業活動を展開



河川氾濫解析 (イメージ)


中央設計技術研究所

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

土壌汚染ビジネス (ブラウンフィールド等) の強化

◇土壌汚染リスク評価

土壌汚染リスク評価ツール開発によるコンサルタントサービス
⇒今後対策ニーズが急増するブラウンフィールド対策へ活用

※米国より講師を招いてリスク評価ツールの説明会を主催 (07年12月5日～7日)

ーブラウンフィールドとはー

土壌汚染の可能性から、積極的に利用されなくなった土地
必要な対策費用は約4.2兆円 (環境省試算)

◇ガソリンスタンド土地売却に伴う油汚染土壌対策

ガソリンスタンドにおける油汚染の調査・対策の実施

ガソリンスタンド跡地等の土壌調査・対策等年間約300件の実績

エネルギー、放射性廃棄物、地球温暖化への対応

大深度地下の有効活用

◇国家石油ガス備蓄プロジェクト

岡山県倉敷市に建設中の地下岩盤
貯蔵施設における地下水・地盤計測実施

◇放射性廃棄物の大深度地層処分

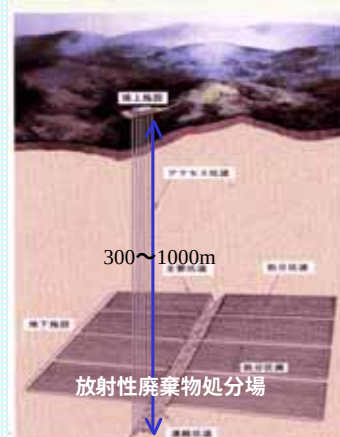
原子力発電環境整備機構 (NUMO)

は放射性廃棄物を大深度に埋設

これに関する地下水・地盤計測の実施

◇その他二酸化炭素の大深度地下

封じ込めに関連する業務へ



放射性廃棄物大深度地層処分場

循環型社会形成に向けて

◇バイオマスの先進的な有効活用

～メタンガスのエネルギー利用、堆肥化・緑農地還元～

- ・国交省、環境省両省の支援事業
- ・下水処理場では全国初の
バイオマスメタン発酵施設が完成
- ・研究、設計、施工管理を実施
- ・8月1日より供用開始
- ・多数の視察者が訪れ、
他市町村も関心



ーバイオマスとはー
動植物から生まれた有機性資源
下水汚泥、糞尿、生ごみ等

CSF 中央設計技術研究所

情報・センシング分野の事業拡大に向けて

◇シナジーによる新技術の開発

グループ会社の持つ情報・センシング技術をさらに高度化

- ・リモートセンシング～航空レーザ測量、衛星データ～
 - ・地上精密測量
 - ・統合型Web GIS
 - ・無線センサネットワーク
- 等多数



これらの技術を防災、環境、交通等あらゆる分野に活用

ACKG21

先行投資による経営基盤強化と さらなるチャレンジへ

ACKG22

先行投資による経営基盤強化へー人材投資ー

◇人材投資

最大の資産である人材に対する投資の大幅増

年度	中途 (人)	新卒 (人)	合計 (人)
'06/09	85	25	110
'07/09	185	40	225
'08/09(予定)	185	50	235

先行投資による経営基盤強化へー研究開発ー

◇研究開発

- ・グループ会社またはACKグループの発案による新規性、市場性の高い案件に対して研究開発を促進
- ・大成基礎設計の「技術研究所」をグループにおける研究開発の中心とする



技術研究所の様子
(山梨県上野原市)



地下水流速流向計
(技術研究所での開発成果)

2008年9月期 目標

◇「一体感の醸成」をテーマに、 経営基盤強化とさらなるチャレンジへ

- ・人材投資のさらなる強化
- ・グループ連携、営業ネットワークのさらなる活用
- ・新技術開発による本格的なシナジー発揮

(単位:百万円)

	第2期 (‘07/09期)	第3期 (‘08/09期)	増減 (対当期比)
売上高	22,763	24,500	7.6% (1,736)
経常利益	653	660	1.0% (6)
当期純利益	36	280	774.4% (243)

※増減のカッコ内数値は増減額(百万円)

※第2期の当期純利益は会計基準の変更により、内部取引に係わる繰延税金資産を取崩し減少

 ACKG

25



顧客価値の追求を通じ
『世界の人々の豊かな
暮らしと夢の創造』を目指し、
今の業容にとらわれず
サービス領域無限大へ
チャレンジします！

ACKG

 ACKG

26

III: 質疑応答



ACKG	28
・本資料に記載の売上高、受注高等の金額には、消費税等は含まれておりません。 ・本資料に記載の金額は、単位未満の端数を切り捨てて表示しております。 ・本資料に記載の増減率、構成比等の数値は、小数点以下2桁目以降を四捨五入して表示しております。	

前期末（'06/09期）

＜12社＞

ACKグループ【1ヶ月】

オリエンタルコンサルタンツ

中央設計技術研究所

ワールド

オリエスセンター

オリエス西日本

オリエス総合研究所

国土情報技術研究所

オリエス交通情報サービス

オリエスシェアードサービス

アサノ建工

【B／Sのみ】

水建設コンサルタント

【B／Sのみ】

当中間末（'07/09期）

＜11社＞

ACKグループ

オリエンタルコンサルタンツ

中央設計技術研究所

ワールド

オリエスセンター

オリエス総合研究所

国土情報技術研究所

オリエス交通情報サービス

オリエスシェアードサービス

アサノ建工

大成基礎設計

【B／Sのみ】

当期末（'07/09期）

＜14社＞

ACKグループ

オリエンタルコンサルタンツ

中央設計技術研究所

ワールド

オリエスセンター

オリエス総合研究所

国土情報技術研究所

オリエス交通情報サービス

オリエスシェアードサービス

アサノ建工

大成基礎設計

【6ヶ月】

吉井システムリサーチ他1社

【6ヶ月】

総合環境テクノロジー

第3期（'07/11現在）

＜11社＞

ACKグループ

オリエンタルコンサルタンツ

中央設計技術研究所

ワールド

オリエスセンター

オリエスシェアードサービス

アサノ建工

大成基礎設計

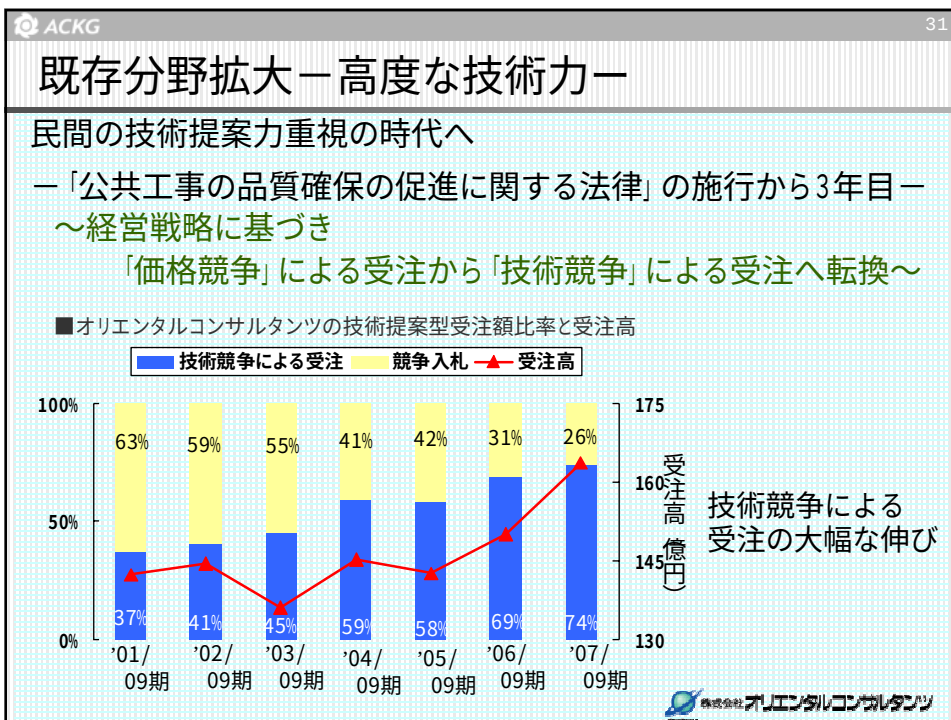
吉井システムリサーチ他1社

総合環境テクノロジー

【5ヶ月】

【B／Sのみ】は貸借対照表のみ連結していることを示しております。
 【○カ月】は○か月分の業績が損益計算書に反映されております。

事業会社	業務内容
オリエンタルコンサルタンツ	デザインソリューション、国土基盤、都市・地域、交通、環境、防災、国際協力等の分野で社会に貢献
大成基礎設計	地下水、土壤環境分野で卓越した技術。土質、地質、地下水、土壤汚染、斜面防災等の調査、土木、建築構造物のリニューアル等
アサノ建工	井戸・温泉の分野で70年の歴史。地下水等を活用し水道料金を削減するESCO方式や環境配慮型の解体工事等の高付加価値型サービスの提供
中央設計技術研究所	上下水道、廃棄物、環境、情報処理の分野を中心に、調査、設計、施工管理等のコンサルティング業務において総合的な技術とサービスを提供
ワールド	航空レーザ計測、写真測量等の地理空間情報整備、統合型GIS、一般測量、用地補償、調査・計画・設計等のサービスを提供
吉井システムリサーチ	建設マネジメント、計測制御、資産管理等に関する多様なシステム開発やパッケージソフトウェア販売、ITサービスの提供
オリエスセンター	建設に関する調査・設計・管理、CM/PM、交通データの観測・解析、交通観測機器の販売・リース、各種観測関連業務等の幅広いサービスの提供
オリエスシェアードサービス	間接部門業務支援、ITサポート、人材マネジメントコンサルティング、人材派遣・紹介等の各種ソリューションサービスの提供
総合環境テクノロジー	循環型社会の形成に向けた廃棄物処理、リサイクル、エネルギー等の環境ソリューション



CSRへの取り組み/社会貢献事業

◇渋谷区との連携による災害時帰宅困難者問題の対策支援事業



とりまとめマップ

- ◆渋谷区帰宅困難者問題研究会
(事務局:オリエンタルコンサルタンツ)
- ・渋谷区、東京商工会議所渋谷支部の
共催のもと、帰宅経路調査を実施
- ・全国の自治体への展開も検討



災害時に危険な箇所(狭い歩道)

株式会社 ワールド

トピック

◇耐震改修促進計画及び地震ハザードマップ作成業務

- ・市民と行政との協働による
安全・安心なまちづくり(鳥取市)
- ・GIS技術を活用し、
「耐震改修促進計画策定」
「地震ハザードマップ作成」
を実施



地理空間情報でゆたかな地域
株式会社 ワールド

トピック

◇沖縄瀬底ビーチ温泉掘削工事

- ・沖縄北部地区、初の温泉湧出
- ・冬期の宿泊客を確保するための魅力作り

株式会社 アサノ建工

◇「ヒューマンキャピタル2007」出展

- ・人材評価ツール「インナビュー」を用いた人事コンサルティングについて展示

【ヒューマンキャピタル】
企業の経営マネジメント層や総務・人事
担当者向けの専門イベント



ヒューマンキャピタル2007

株式会社 オリエンスシェアードサービス

トピック

◇ACKグループ 危機管理産業展2007に出展

グループ各社の持つ
危機管理に関する技術を出展

- ・土砂災害
- ・インフラ管理
- ・スマートキロポスト
- ・光ファイバ等センシング技術等の技術を出展



株式会社
ACKG ACKグループ

ACKG						37
連結損益計算書						
	前期 (‘06/09期)		当期 (‘07/09期)		増減額	(単位:百万円)
売上高	17,167	(100.0%)	22,763	(100.0%)	5,595	前期比33%増
売上原価	11,959	(69.7%)	16,281	(71.5%)	4,322	
販売費・一般管理費	4,706	(27.4%)	5,894	(25.9%)	1,188	
営業利益	501	(2.9%)	586	(2.6%)	85	新規連結子会社の業績や内製化、間接業務の集約・効率化の効果
経常利益	517	(3.0%)	653	(2.9%)	135	
特別損益	△108	(△0.6%)	△49	(△0.2%)	58	
税引前当期純利益	409	(2.4%)	603	(2.7%)	194	
当期純利益	106	(0.6%)	36※	(0.2%)	△70	
受注高	17,528	-----	22,834	-----	5,305	
※会計基準の変更により、内部取引に係わる繰延税金資産を取崩し当期純利益は減少(会計基準の変更がなかった場合の当期純利益は275百万円。翌連結会計年度においては会計基準変更の影響はありません。)						

ACKG						38
連結貸借対照表						
	前期 (‘06/09期)		当期 (‘07/09期)		増減額	(単位:百万円)
流動資産	7,126	(72.1%)	8,408	(64.8%)	1,282	
固定資産	2,759	(27.9%)	4,559	(35.2%)	1,800	
資産合計	9,885	(100.0%)	12,967	(100.0%)	3,082	新規連結子会社による規模拡大
流動負債	3,703	(37.4%)	5,465	(42.1%)	1,762	新規連結子会社の影響、規模拡大に伴う運転資金の増大、新規連結会社の借入れ返済
固定負債	392	(4.0%)	1,294	(10.0%)	901	
負債合計	4,095	(41.4%)	6,759	(52.1%)	2,663	
資本金	500	(5.1%)	503	(3.9%)	2	
資本剰余金	261	(2.6%)	751	(5.8%)	489	
利益剰余金	4,808	(48.6%)	4,782	(36.8%)	△25	大成基礎設計との株式交換
少数株主持分	288	(2.9%)	311	(2.4%)	22	
純資産合計	5,789	(58.6%)	6,208	(47.9%)	418	
負債・純資産合計	9,885	(100.0%)	12,967	(100.0%)	3,082	

ACKG				39
連結キャッシュ・フロー計算書				
(単位:百万円)				
	前期 (‘06/09期)	当期 (‘07/09期)	増減額	
営業活動による キャッシュフロー	690	713	22	営業CFは順調に拡大
投資活動による キャッシュフロー	△419	△313	106	
財務活動による キャッシュフロー	△82	△704	△622	・有形・無形固定資産取得 ・連結子会社株式取得
現金及び現金 同等物の増加額	186	△303	△489	・新規連結会社の子会社 化前の借入れ資金返済
現金及び現金 期末残高	2,437	2,133	△303	・自己株式の取得 ・配当金の支払い

ACKG				40
指標関係 (連結)				
	単位	前期 (‘06/09期)	当期 (‘07/09期)	
1株当たり当期純利益 (EPS)	(円)	21.60	6.78 (※)	
1株当たり純資産 (BPS)	(円)	1109.17	1051.29	
自己資本比率	(%)	55.7	45.5	
自己資本当期純利益率 (ROE)	(%)	1.9	0.6 (※)	
総資産経常利益率 (ROA)	(%)	5.5	5.7	
株価純資産倍率 (PBR)	(倍)	0.64	0.44	
1株当たり当期純利益は、 期中平均株式数に基づき算出 ‘06/09 4,953,775株 ‘07/09 5,330,246株 1株当たり株主資本は、 期末発行済株式数に基づき算出 ‘06/09 4,959,280株 ‘07/09 5,608,825株				
※会計基準の変更により、内部取引に係わる繰延税金資産を取崩し当期純利益は減少				

お問い合わせ先



JASDAQ
銘柄略称: ACKG
証券コード: 2498

〒150-0036

東京都渋谷区南平台町16-28 グラスシティ渋谷

TEL: 03-6311-6641 (代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ackg.jp>

(銘柄略称: ACKG / 証券コード: 2498)

問合せ 統括管理本部 企画・広報室長 高坂 静夫

e-mail: ir-ackg@ackg.jp

**本日は弊社決算説明会に
ご参加いただきましてありがとうございました**